



くすのき

Kusunoki



初代の遺伝子を受け継いだユリノキ

CONTENTS

● SHOIN LABO SPECIAL — 新学長メッセージ

「建学の精神を受け継ぎ 社会の要となる女性を育成」

北尾 悟 学長

5

● Feature Story — 100周年記念事業ニュース

「樟蔭百年」を学園で開催しました!

1

● こもれびの窓 — 「相撲の世界に飛び込み、女将さんに」松本裕起子さん

7

● NEWS — 「各校の卒業式&入学式」ほか

9

● CLUB NAVI — 大学学友会

19

● Information — イベントのお知らせ

21

● WingBEAT! — 「自分たちのアイデアが形になる喜びを体感」●●●●●さん ■■■■さん

23

● FORUM — 「新任教員紹介」ほか

24

● 平成27年度決算概要報告

25

● リレー★コラム 武藤 祐子 先生 & STAFF@SHOIN 高田 順子さん

27



はばたけ、知性。



2017年、学園が創立100周年を迎えるにあたり、記念イベント「樟蔭百年」を開いています。1回目は2014年に大阪市北区のグランフロント大阪で開催、多くの方に学園の伝統を感じてもらいました。2015年は、大学のキャンパス統合と新校舎の完成で新しくなった小阪キャンパスをお披露目しようと夏は地域の皆さま、秋には卒業生の皆さまと先生方を学園にお招きしました。

「樟蔭百年」を学園で開催しました!

8月8日(土) 樟蔭夏まつり

地域の皆さまと絆を深めることを目的に「樟蔭夏まつり」を開催しました。河内家菊水丸さんを招いた盆踊り大会をはじめ、音楽演奏やダンスの演技を披露するパフォーマンスショー、学生や地域の皆さまのブース出店、子ども向けの体験コーナーなど子どもから大人まで楽しめるイベントを企画。在学生が浴衣姿で華やかさを演出しました。来場者は1500人を超え、多くの方に生き生きとした学園の雰囲気を感じていただくことができました。附属幼稚園、中学校、高校、大学、大学院が一丸となって開催するイベントは初めての試みでしたが、大成功となりました。

タブロイド新聞を作成

夏まつりの地域広報学生チームが地域情報を発信する「週刊ひがしおおさか」と共同でタブロイド新聞を作成し、夏まつりをPRしました。チームはライブプランニング学科の加藤ゼミ3、4回生で構成。学生たちはポップでわかりやすいデザインに仕上げ、夏まつりに来てほしい、という願いを込めました。

樟蔭オリジナル河内音頭を披露

河内音頭家元の河内家菊水丸さんと樟蔭高校生13人が「樟蔭オリジナル河内音頭」を作り、夏まつりで披露しました。菊水丸さんからアドバイスを受ながら次の100年へ残る歌詞を考え、学校の歴史や現在の風景、未来へのメッセージを織り込みました。作詞した生徒たちは菊水丸さんとともに「第5回三陸海の盆 in 気仙沼」(8月11日)に参加し、復興を祈って音頭を紹介しました。

間伐材にお絵かき

学園創設者が材木商だったことにちなんで、間伐材に絵を描くコーナーを企画しました。参加した子どもたちは木の匂いや手触りを感じながらお絵かきを楽しみました。一足先に附属幼稚園の園児が描いた作品も展示。のびのびとした個性豊かな作品が目立っていました。

幻のスイーツ「樟蔭サンデー」復活

地元の人気カフェ「フランクス」の協力を得て、記念館に1日限りの樟蔭カフェをオープン。世代を超え、笑顔あふれるコミュニケーションの場となりました。カフェにはかつて樟蔭の先生が考案した幻のスイーツ「樟蔭サンデー」を復活させ、卒業生を驚かせました。



復活した「樟蔭サンデー」

フィナーレはイルミネーション点灯式

フィナーレを飾ったのはイルミネーションの点灯式です。点灯の瞬間を見守った卒業生から幻想的なイルミネーションに大きな拍手と歓声が上がりました。



11月21日(土) ノーベル物理学賞・中村修二教授講演会

青色発光ダイオード(LED)を開発し、2014年のノーベル物理学賞を受賞した中村修二・米カリフォルニア大サンタバーバラ校教授の講演会を開催。約900人の参加者が熱心に聞き入りました。中村教授は、大学卒業後に民間企業に就職し、赤色LEDの研究を続けた10年間で一番苦労したと回顧。休日返上で実験を繰り返すなど青色LED開発までの経緯をエピソードを交えて紹介しました。そして、「英語力や提案力を磨いて起業家を目指してほしい」と若者へメッセージを送りました。



樟蔭オリジナルグッズコンテスト

イベントの一環として、学園のシンボルにふさわしいオリジナルグッズコンテストを開催。生徒や学生のアイデアが詰まった応募作品60点の中から優秀作品5点を夏まつりで発表しました。選ばれた作品は、●●●●さん(中学)の「樟蔭制服チャーム」、■●●●さん、▲▲▲さん(高校)の「金太郎郎」、◆◆◆◆さん(高校)の「100周年シンボルマーク入りポーチ」、★★★さん(ライブプランニング学科)の「樟蔭型小物入れ」、メイクデザイン研究室(武藤ゼミ)の「新校舎をイメージしたマスカラ」で、一部の作品は製作されました。



樟蔭百年

2017

同窓生のみならず
ご家族・お友達をお誘いあわせの上、
是非会場にお越しください。

樟蔭学園100周年 記念プレイベント

～次世代の樟蔭、無窮の大空を翔ける～

100周年記念プレイベント「樟蔭百年」を開催します。
今年「次世代の樟蔭、無窮の大空を翔ける」をテーマに、
学園が総力を挙げて次世代へはばたく樟蔭をアピールします。

ご来場をお待ちしています。 **入場無料**

2016 **8.20** 土 **8.21** 日 両日とも 11:30～17:00

グランフロント大阪 北館 1F ナレッジプラザ

お問い合わせ
100周年記念事業本部
TEL:06-6723-8152(直)



8/20 ① 本学客員教授 **桂かい枝** **英語落語**
12:30 13:00
プロフィール / 1994年上方落語の五代目桂枝に入門。「世界の人間にも落語の楽しさを伝えたい」と古典落語を英訳し、英語による落語公演をスタート。これまでに21カ国105都市で300回を超える海外公演を成功させている。文化庁芸術祭新人賞・NHK新人演芸大賞・咲くやこの花賞・紫晶亭大賞爆笑賞など受賞多数。

8/21 ⑥ 本学講師 **ハリウッド映画の特殊メイク**
12:10 13:00 **江川悦子** 先生の実演
人間がサレ大変
プロフィール / 日本の特殊メイクの第一人者。米国ロサンゼルス在住中に特殊メイクを学び、その後「ゴーストバスターズ」「キャプテンEO」などの映画作品にスタッフとして参加。帰国後、株式会社メイクアップディメンションズを設立。代表作として映画「おくりびと」「アウトレージ ビヨンド」「清須会議」や「花子とアン」「探偵 左文字進」「小林一三」などがある。そのほかCM、舞台、イベントなど幅広いメディアで活躍中。

中学校・高等学校・大学「新体操部」
8/20 ② **美・技・動の新体操**
●27年度全国高等学校新体操選抜大会出場 ●AGGワールドカップバルセロナ大会 世界第9位
●AGG 世界選手権チエコ大会 (World Championship in AGG 2016) ナショナルチームメンバー 世界第3位

8/21 ⑦ 人聞 **竹本住太夫** 師匠
13:30 14:00 対談 **「文楽は、おもしろおます」**
プロフィール / 1924年 大阪市生まれ。1944年 大阪専門学校(現近畿大学)卒業。1946年 二世豊竹吉太郎太夫に入門。1985年 七世竹本住太夫を襲名。1989年 人間国宝に認定される。2002年 日本藝術院会員に任命される。2005年 文化功労者として顕彰される。2014年 文化勲章を受章。代表作には「菅原伝授手習鑑」「桜丸切腹」「伊賀越道中双六」「沼津」「恋女房染分手綱」「番掛村」などがある。

中学校・高等学校「ダンス部」
8/20 ③ **変幻自在のカメレオン軍団**
●2015 日本中学校ダンス選手権 審査員特別賞 ●2015 28th All Japan Dance Festival-KOBE 入選

8/21 ⑧ **くまモン** 登場!
熊本県PR ©2010 熊本県くまモン 協力 熊本県大阪事務所
子どもたちと一緒に熊本を応援
① 幼稚園児・小学生 11:40～12:10
② 小学生・中学生 14:30～15:00

8/20 ④ **「あなた」を再発見**
ホンモノの心理テスト体験

8/21 ⑩ 大学生 **ダンスパフォーマンス**

8/20 ⑤ 健康相談 **「あなたの食事は大丈夫ですか？」**
フードサンプルから食事チェック

8/21 ⑪ 心理学ミニ講座 **「トリックの心理学」**

8/21 ⑫ 大学生 **FASHION WORKSHOP & Summer ★ Body Paint**

しゅういん **樟蔭** ものがたり
大正・昭和・平成を生きた女性たち
常設パネル展
●両日開催

⑬ 両日開催 **原始力発電で模型電車を走らそう**

⑭ 両日開催 **絵本読み聞かせ & 人形劇**

⑮ 両日開催 **間伐材に絵を描こう!**

⑯ 両日開催 **企業 × 学生**
「インターンシップで商品開発」の紹介

⑰ 両日開催 **地域行政 × 学生**
地域課題解決プロジェクト
「一戸建て住宅つくっちゃいました」

⑱ 両日開催 **書道パフォーマンス**

両日開催 **中学校・高等学校・大学 入試相談コーナー**

8/20 Schedule	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
●メインステージ		②	③	④	⑤	⑥	⑦
●ミニステージ			①		⑧		
●学生活動の紹介				⑨ ⑩			
●子育て広場				⑪ ⑫			
●体験コーナー				⑬ ⑭			

8/21 Schedule	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
●メインステージ	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
●ミニステージ		⑮	⑯	⑰	⑱		
●学生活動の紹介				⑲ ⑳			
●子育て広場				㉑ ㉒			
●体験コーナー				㉓ ㉔			

イベントの詳細はコチラ <http://100th.osaka-shoin.ac.jp/event>

*プログラムは変更になる場合があります。

樟蔭百年

当日のご飲食は会場フロアにある **CAFE Lab.** でできます!
要予約
TEL. 06-6372-6441
営業時間 8:00～23:00 (ラストオーダー 22:30) 所在地 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル1F
■ 当日のご飲食をご希望の方は、事前予約が必要です。
■ ご予約時間 ② ご予約人数をお決めのうえ、上記電話番号まで各自お申し込みください。
■ 予約は、イベント開催2日前までとなります。

樟蔭学園同窓生かつ、8/20/21ご利用分についてのみお席予約可
※ 予約の際には樟蔭学園の卒業生であることをお伝えください。
※ お席の状況によってはご予約をお断りする場合がございます。
※ カフェラボメニューのご注文をいただく場合に限りです。
※ 飲食物のお持込はお断りしております。
※ 飲食代金は当日のご精算をお願いします。

President message

大阪樟蔭女子大学 新学長からのメッセージ

建学の精神を受け継ぎ 社会の要となる女性を育成

北尾 悟 学長

2016年4月に新学長に就任した北尾悟教授は、これまで2年間にわたって副学長を務め、入試部長も担当。新しい樟蔭の「顔」になった北尾学長に抱負を語っていただきました。



■ 創立100周年を新たなスタートに

本学の運営母体である樟蔭学園は2017年、創立100周年という大きな節目を迎えます。この節目を新たな100年へのスタート地点と捉えています。「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」という建学の精神を受け継ぎ、社会のニーズに呼応した学びを取り入れていきたいと思えます。次の100年でのさらなる飛躍を遂げるため、ソフトとハードの両面での充実をはかり、存在価値を高めていこうと考えています。

キーワードは「学びの質の向上」です。2015年4月に大学機能を小阪キャンパスに集結し、教育環境が整いました。学部学科構成は、学芸学部(国文学科、国際英語学科、心理学科、ライフプランニング学科、化粧ファッション学科)、児童学部(児童学科)、健康栄養学部(健康栄養学科)の3学部7学科に移行。独自の教養教育プログラム「学士課程基幹教育」も導入しました。そのポイントは社会人としての基礎力はもちろん、女性として必要な教養を育む科目をラ

インナップしていることです。人間形成分野と言ひ換えられると思えますが、「なぜ学ぶのか」「人生とは何か」を考えてもらい、「どんな職業に就きたいのか」「そのためにどんなスキルが必要なのか」を突きつめて、次のステップに進んでほしいと思えます。多種多様な生き方をサポートする体制が整っていますから、多彩な分野に触れて知性と感性を磨いてほしいと願っています。



酵素の力を利用して新しい食品素材の合成研究をしてきました。最近では、食品素材(成分)の機能を活かした加工・調理方法を提示し、講演も行っています。

■ まず、「自分」を知ることから

学生の皆さんには何よりコミュニケーション能力を高めてほしいと思います。私は本学に着任して19年目になります。その間、学生の皆さんを見ていて、どこか自信なさげな表情をしていたり、自分の魅力をうまく伝えられない学生が多いと感じています。入学式の式辞で述べましたが、「自分」を持たなければ、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができません。まず、「自分」を知ることからです。自分と向き合って、分析し、理解してほしい。そうすることで自信を持ったり、自己の存在意義を認識できます。それが学業への意欲につながり、成長を遂げていくと信じています。

私は、高校時代に、ワトソン博士とクリック博士が提示したDNAの二重らせん構造に魅せられ、バイオテクノロジーの研究をしたと思い、筑波大学で生物応用化学を学びました。卒業後、就職した企業で酵素の研究を続けました。もともとシャイだったこともあり、試験管に向き合っている時間が好きでした。研究開発の仕事は当初なかなか成果が得られず苦しんだ時期がありましたが、一つうまく動き出すとどんどん面白くなりました。でも人と話すのは苦手でした。ただ、30代になったころから、リーダーとして意見をまとめるなど研究以外の仕事も増えてきました。遅ればせながらコミュニケーションの大切さを痛感したわけです。そんな経験から、学生の皆さんには、早い時期からコミュニケーション能力を育ててほしいと思います。

そしてぜひとも大学の建学の精神に基づいた「社会の要となる女

性」として羽ばたいてほしいと思います。要となる女性は、社会の中で自らのポジションをしっかりと見定める判断力があり、知識とスキルを身につけています。職場・家庭・地域社会などで「この人がいなきゃ」と思わせる人間です。ひとりでも多くの要となる女性を社会に送り出すことが、本学の存在価値を高めることにもつながります。

■ 「日本で一番輝く女子大学」に

4月1日から「女性活躍推進法」が施行されました。この法律の内容を実際に運用するにはまだまだ多くの課題が残されています。法律云々とは別に、今の時代だからこそ、女性の能力を引き出す女子大学の存在意義は大きいと考えています。

樟蔭の魅力はとにかく教員が丁寧に学生をサポートすることで。学生と教員の距離が近く、親しみやすい雰囲気は素晴らしいものです。この大学に入ったら、きっとこんな人生ストーリーが描けるかもしれない……。そう夢をふくらませてもらえるよう環境を整え発信していきます。

課題は当然あります。大阪樟蔭女子大学という明確なブランドイメージがまだ確立できていないように感じています。イメージづくりには学生の皆さんをはじめ教職員の力は不可欠です。卒業生の皆さんも母校としての誇りをもち、応援していただきたいと思っています。教職員には、これまで以上にホスピタリティ精神をもった学生へのサポートをお願いしています。「日本で一番輝く女子大学」。そう呼ばれるのが目標です。



北尾 悟(きたお さとし)

1958年生まれ。大阪府出身。1981年、筑波大学第二学群農林学類生物応用化学専攻卒業。博士(農学)。1995年、「スクロースホスホスターゼによる糖質関連物質の合成」研究により筑波大学から学位を授与される。専門は「食品機能加工学」。1981年、キッコーマン株式会社入社。財団法人野田産業科学研究所研究員、キッコーマン株式会社生物化学研究所研究員を経て、1998年、大阪樟蔭女子大学へ。学芸学部助教授、健康栄養学部教授、副学長を務める。2016年4月から現職。

博士号をいただいた時の学長がノーベル物理学賞を受賞された江崎玲於奈博士でした。一人一人に壇上で握手をされましたが、その時の柔らかいパワーとした感触が忘れられません。人を包み込む、まさしく包容力に溢れているように感じました。江崎先生のような人間に一步でも近づくことができたら……と思います。

「心ある温かい部屋を つくりたい」 相撲の世界に飛び込み、 女将さんに

松本 裕起子さん

相撲部屋「片男波部屋」女将(おかみ)さん
大阪市出身。1992年3月、樟蔭女子短期大学英米語科卒業

東京・両国の国技館に近い片男波部屋は、半世紀の歴史がある相撲部屋。元横綱・玉の梅関を輩出した名門です。女将さん業6年になる松本さんを部屋に訪ねました。



最初はどう接していいかわからず

片男波部屋は力士6人の小さな相撲部屋です。女将さんになって6年になります。現役当時は主人だけの事を考えていればよかったのですが、部屋継承時は力士の年齢も当時は私たちとそんなに離れていなかったで、どう接していいかわからず大変でした。私はもともと相撲の世界に興味があったわけでは全くなくて、逆に敬遠してたというか。でも、相撲には長い伝統があり、目上の方を敬うとか、「礼に始まり礼に終わる」という礼儀を重んじる精神など、相撲道の素晴らしさを知りました。力士たちは相撲を通じ日々厳しい稽古を積み重ね、精神鍛錬し、自分を成長させていきます。彼らの頑張りを見て私も勇気づけられています。そういうものを皆さんに知っていただきたいと思います。

役だった英文タイプの授業

樟蔭女子短期大学を選んだのは、たまたま幼なじみの同級生と、

こか同じ短大に行こうとなり、好きだった英語の学科もあったので、入学しました。一番学生数が多い頃で、卒業後の就職した会社にも先輩がいました。一番記憶に残っているのは、英文タイプの授業です。「よーい、スタート」の声で、カチャカチャカチャとタイプを叩いてました。あの頃はパソコンも今のように普及していなかったの、会社に入ってからも役に立ちました。英会話の授業では、ベンソン先生という体格が大きな先生がいらっやして、「発音がいいね」とほめられたのを覚えています。実は今、部屋には外国の方が稽古の見学に来られるんですよ。東京五輪・パラリンピックに向けて、さらに多くの方が外国から来るでしょうから、説明とか案内に英語が活かせるかもしれません。



若い時の経験は貴重

卒業旅行では、友達とヨーロッパに行きました。美術館めぐりをしたので、今も美術展の情報を見ると、ああ、行ったなあと思い出します。今の年齢になって初めて知るよりも、学生時代に実物を見られたという経験は、当時は思いませんでしたが、振り返ると貴重だったんだと思います。学生時代は毎日が忙しく、あっという間でした。そして、今は大阪を離れて東京に住んでいますが、今でも当時の友達に連絡を取ったり、大阪に帰る時には会ったりと、お付き合いは続いています。



まつもと・ゆきこ ● 卒業後、一般企業に就職。知人の紹介がきっかけで、2002年に玉春日関(元関脇・08年引退・現片男波親方)と結婚。10年、夫が片男波部屋を継承し、相撲部屋の女将さんに。



身をもって見せる

女将さんという仕事、やりがいがあります。自分たちも勉強させてもらっています。教えることで、お弟子さんがいい方向に変わってくることが、なによりうれしいですね。何事も自分で気づくことって大事だと思うんです。山本五十六さん(旧日本海軍聯合艦隊司令長官)の言葉で「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば、人は動かじ」というのがあります。この言葉の通り、まずこれやりなさいと口だけで言っている人は絶対ついてこないで、自分が身をもってお手本をしめすことが大切だと思います。



伝統文化を大切にしながら新しい風をとり入れたい

最近は弟子のスカウトにも親方と一緒にいきます。親御さんは女性を見て安心すると思うんです。相撲が強いということよりも、人として社会に出た時に、あの部屋にいてよかったなど思ってもらいたい。私、それをスカウトする時から言ってしまうので親方にいつも怒られるんですけど。今はほぼ核家族で育った子ばかりですが、私は祖父母がいて大人数の家族で育ち、いつも家には誰かが来ているという環境で育ったので、こういう世界にも飛び込めたのかなとも思うんです。小さいながらも心ある温かい部屋を作りたい。良き伝統文化を守りながら新しい風を取り入れていきたいです。

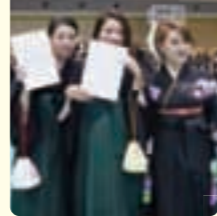
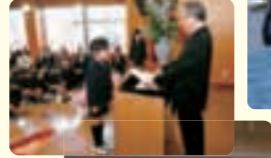
ビジョンを持って学生生活を

何か一つの特技を活かしながら、ビジョンを持って学生生活を過ごしてほしいですね。今、携帯電話やSNSでは何でも発信して言えるけれど、面と向かって堂々と意見を言える、という方は少ないのではないのでしょうか。実際に自分から相手に向かってきちんとモノが言えて、一つ一つ課題を解決し自分からアクションを起こす。そういう方になってほしいと思います。出会う人との縁を大切に、また絆を育む友が多く出来ます様、学生生活を過ごして欲しいですね。

学園

ご卒業、ご入学おめでとうございます

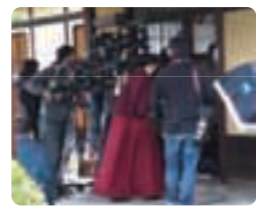
3月、附属幼稚園47人、中学校76人、高校306人、大学542人、大学院14人が巣立ちました。卒業生としての誇りを胸に、大きくはばたいてほしいと思います。そして4月、附属幼稚園45人、中学校91人、高校296人、大学655人、大学院9人が入学。新たな学校生活をスタートさせました。



イベント報告

樟徳館でNHK「あさが来た」を撮影

学園創設者の森平蔵の私邸として昭和初期に建てられ、2000年に国の登録有形文化財に登録された樟徳館で1月5日(火)、NHK連続テレビ小説「あさが来た」の撮影が行われました。大阪を拠点に活動した実業家の広岡浅子さん(1849~1919年)がモデル



として描かれており、女優の波瑠さんがヒロイン・あさ役を務めました。樟徳館は大隈重信邸の玄関として2月18日(木)の放送に登場しました。

また、出演者インタビューや撮影秘話を盛り込んだ「あさが来た メモリアルブック」(NHKサービスセンター、A4判、120ページ)に、創立者の熱い思いを

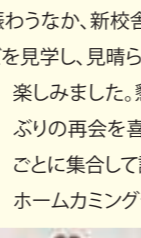


継承する女子大として、学園の歴史が紹介されました。

報告

ホームカミングデー2周目がスタートしました

新しくなった小阪キャンパスで10月24日(土)、卒業生を母校へ招く「樟蔭ホームカミングデー2015」を開催しました。今年



は286人の卒業生が参加。大学祭「くすのき祭」でキャンパスが賑わうなか、新校舎「学生サポート会館清志館」や「体育館(100年会館)」などを見学し、見晴らしのよい「翔空館」10階で懇親会を楽しみました。懇親会では、昼食を取りながら久しぶりの再会を喜ぶ卒業生の笑顔が印象的で、学年ごとに集合して記念撮影する光景も見られました。

ホームカミングデーは、懐かしい恩師や友人と旧交を温める行事として2005年に開始。毎年、10年に一度の対象期にあたる卒業生を招待しています。今年は11回目を迎え、2周目のスタートとなりました。

イベント報告

樟蔭同窓会総会と東京支部総会が開催されました

樟蔭同窓会総会が5月15日(日)、大阪市天王寺区のセラトンドホテル大阪で開かれ、卒業生179人が参加しました。総会では役員の任期満了に伴う改選が行われ、杉田旬子会長と3人の副会長の就任が決まりました。その後の懇親会は日比浩一さん(本学客員教授)のバイオリン演奏や毎年恒例の福引きなどで大いに盛り上がりしました。

また、東京支部総会は6月8日(水)、東京駅にある東京ステーションホテルで開かれ、124人の卒業生が集いました。今年はプロジェクション・マッピングを取り入れたサブライズ演出で開宴。驚きながらも東京駅をテーマにした映像を楽しみました。



イベント報告



東京支部総会

受け継がれるユリノキ 高校生が卒業式に植樹

学園創立当初、「日本の植物学の父」と言われる植物学者、牧野富太郎博士の指導のもと、学内の植物園に植えられ、大切に守り続けてきたユリノキ。傷みが激しくなり、弱々しくなったユリノキをなんとか残そうと2年前、元気な枝先を切り取り、接ぎ木をしました。そして、そのうち何本かが無事に成長。1メートルほどに成長した若木を3月3日の高校卒業式の日、高校生が植樹しました。創立時のユリノキは11月に伐採。木の内部は80%が空洞化し、いつ倒れても不思議ではなかったそうです。初代ユリノキの遺伝子を受け継いだ若木がこれから100年、樟蔭生を見守ってくれることを願っています。

報告



報告

フェイスブック「いいね!」数が1700を超えました

学園創立100周年を記念したフェイスブックページ「樟蔭ファミリー交流ページ」の「いいね!」数が1727(2016年6月24日現在)を超えました。卒業生の愛校心たっぷりのコメントも多く、うれしい思いでいっぱいです。

フェイスブックページは在学生や卒業生をはじめ、学園に関わる人々と交流を図り、絆を深めることを目的に2013年に開設しました。最新情報やイベント情報のほか公式ホームページでは伝えきれない学園の雰囲気や樟蔭生の様子を伝えています。100周年を迎える2017年に向け、さらに内容を充実させるつもりです。ぜひ「いいね!」をお願いします。

■ 樟蔭ファミリー交流ページ
<https://www.facebook.com/shoinfamily>



大学・大学院

大学「英語落語発表会」を開催。中学生・高校生も初高座



2月16日(火)、国際英語学科の学生による第9回英語落語発表会が開催されました。今回から新たに中学生、高校生も出演することになりました。予選で選ばれた生徒2人が高座に上がり、初めてとは思えない堂々とした姿で英語小咄を発表しました。その後、学生4人が半年間、落語家の桂かい枝先生、桂あさ吉先生の授業で稽古を重ねた英語落語と英語小咄を披露。樟蔭伝統の袴を身に付け、高座に上がった学生たちは緊張しながらも、いきいきとした表情で演じました。多くの来場者が終始笑いに包まれるなか、2人の先生が英語落語を披露すると、プロならではの迫力ある話芸に会場は魅了されました。



活動報告

第8回 田辺聖子文学館ジュニア文学賞 表彰式

表現力豊かな若い世代を育てようとする全国の中学生・高校生から作品を募る「第8回田辺聖子文学館ジュニア文学賞」の表彰式を3月22日(火)に行いました。最高賞の「田辺聖子賞」に選ばれた滝川第二中学校3年の●●●●さん、白百合学園高校2年の■■■■さんらに賞状や賞品が手渡されました。



文学賞は小説、エッセイ、読書体験記、短歌、俳句、川柳の作品を募集。応募作品数は年々増え、第1回の応募件数の約4倍となる3万1405作品が集まりました。審査委員長の中西進館長はじめ著名な先生方の審査の結果、115作品の入賞が決定しました。表彰式に続き大阪出身の芥川賞作家、柴崎友香さんが「小説の世界が動き出すとき」と題して講演。受賞した中高生はじめ多くの皆さんに、新しい視点から作家の実際に触れていただきました。

表彰

本校の生徒も入賞!

- ◆ 読書体験記中学生の部
優秀賞: ●●●● (中3年)
佳作: ●●●● (中3年)
●●●● (中2年)
●●●● (中2年)
- ◆ 読書体験記高校生の部
佳作: ●●●● (高1年)
●●●● (高2年)

※入賞当時の学年で表記しています

全学部が集まり盛大な「くすのき祭」

キャンパス統合後、初めて全学部が集まった「くすのき祭」を10月24日(土)、25日(日)に開催しました。65回目となる今回のテーマは「color~いろとりどりの想い~」。実行委員長の●●●●●さんは「colorに



はそれぞれの個性という意味を込めています。これまで以上に多くの学生が集うキャンパスになりました。さらに多くの個性を認め合い、協力し合うことで、今まで以上に盛り上がる大学祭にしようとテーマに決めました」と話します。当日は伝統の袴コンテストやコンサートのほか、学生が企画・出演するファッションショーなど華やかなイベントで盛り上がりました。また、スイーツや軽

イベント報告



食など学生の自信作を並べた模擬店も大にぎわいでした。プログラムの最後を飾ったのは俳優の玉木宏さんを招いたトークショー。キャンパスには2日間で昨年の1.5倍となる7000人以上が来場、盛大な大学祭となりました。

「船場まつり2015」でファッション&メイクショーを開催

被服学科(2016年4月から化粧ファッション学科に名称を変更)の学生が10月3日(土)、大阪市中央区で開催された「船場まつり2015」で、「ファッション&メイクアップショー」を開きました。

ファッション、化粧、美容をトータルで学び、「美」のプロを目指す学生が「実り」をテーマにショーを企画。被服学専攻の学生が船場センタービル内から材料を調達し、衣装、装飾を制作しました。ヘアメイクは化粧学専攻の学生が担当し、モデルも学生が務めました。樟蔭オリジナルの華やかなショーに、会場に集まった多くの来場者から惜しみない拍手が送られました。

同時に開催したオリジナルのシュシュやブローチ作りが体験できるワークショップも好評で、樟蔭らしさを存分に表現できました。



活動報告



小阪キャンパスで「子育てカレッジ2015」初開催

「SHOIN子育てカレッジ2015」が7月12日(日)に開催されました。子育てカレッジは児童学部主催の親子で楽しめる体験型イベントです。地域の子育て支援の一環として、また学生の教育実践活動の場として、児童学部が2008年から関屋キャンパスで開催してきました。キャンパス統合により今年から小阪キャンパスで開催することになりました。

多くの絵本を集めた「えほんワールド」をはじめ、読み聞かせ、宝探し、手影絵、万華鏡や楽器づくりなど学生が企画した約20種類のワークショップに800人以上の親子連れが参加し、大盛況でした。保護者から「普段できない遊びを子どもが体験できました」「学生に子どもと遊んでもらっている間に一息つくことができ



新キャンパスで初の消防訓練

10月31日(土)、翔空館、清志館周辺において、消防訓練を行いました。学生127人、教職員30人のほか、地域の人や幼稚園児とその保護者も参加し、例年よりも大規模な訓練となりました。

訓練は、翔空館5階の研究室から出火して、逃げ遅れた人が数人いると想定。教員や消防団員の誘導で学生たちが清志館からキャンパス中央広場へ避難した後、逃げ遅れた人の救出や消防車による放水などが本番さながらに繰り返されました。学生たちは煙の怖さやわかる煙体験、消火器を使った初期消火体験、炊き出し訓練なども行い、火災の未然防止と防火意識を高めました。

報告

3年連続合格率100% 管理栄養士国家試験
5月10日(火)に「第30回管理栄養士国家試験」の結果が発表され、管理栄養士専攻の新卒受験者68人全員が合格しました。3年連続で合格率100%を達成しました。この実績は管理栄養士養成施設に認定されている全国124大学のうち、2大学のみで、西日本では本学のみ(厚生労働省調べ)という輝かしい成績です。全体の合格率は44.7%で、管理栄養士養成課程(新卒)の合格率は85.1%でした。

精神保健福祉士国家試験 4年連続の快挙
「第18回精神保健福祉士国家試験」の合格発表が3月15日(火)にあり、心理学部の現役合格者は16人でした。合格者数が4年連続で全国の女子大で最多(大学院・通信制大学を除く)という快挙を成し遂げました。受験者数7173人、合格者数4417人、合格率は61.6%でした。

児童学科就職決定率が6年連続100%
2016年3月に卒業した児童学科の卒業生のうち、就職希望者全員が就職し、就職決定率が6年連続100%を達成しました。就職実績は125名でした。約9割の学生が、幼稚園教諭や小学校教諭、保育士といった教育・福祉・保育現場への就職を決め、入学時からの夢を実現させました。

活動報告

平成27年度 学生表彰

3月に学生表彰が行われ、学業や課外活動等において顕著な成績を収め、他の学生の範となった学生に対し、その功績を讃えました。学業優秀者表彰では森平蔵賞が13人に、学業奨励賞が68人に贈られ、課外活動等表彰では学長賞が8団体と、個人8人に贈られました。

(1)学業優秀者表彰 学業において研鑽に励み、他の学生の範となった個人を表彰します。

■森平蔵賞(平成28年3月卒業生)在学中の学業成績が評価

- (大学院・臨床心理) ●●●●●(大学院・人間栄養) ●●●●●(大学院・化粧ファッション) ●●●●●(国文) ●●●●●(国際英語) ●●●●●(健康栄養)
- (被服) ●●●●●(インテリアデザイン) ●●●●●(ライフプランニング) ●●●●●(臨床心理) ●●●●●(発達教育心理)
- (ビジネス心理) ●●●●●(児童)

■学業奨励賞 27年度中の学業成績が評価 ※ ()内は平成27年度の回生を記載。

◆国文	●●●●●(1)	●●●●●(1)	◆被服/化粧学専攻・美容コース	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)		
◆国文/国語・国文学コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆インテリアデザイン	●●●●●(4)				
◆国文/創作表現コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆ライフプランニング	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	
◆国文/キャラクター文芸コース	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆心理	●●●●●(1)	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	
◆国際英語	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆臨床心理	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	
◆健康栄養/管理栄養士専攻	●●●●●(1)	●●●●●(1)	●●●●●(1)	●●●●●(2)	◆発達教育心理	●●●●●(4)			
	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	◆ビジネス心理	●●●●●(4)			
	●●●●●(4)				◆児童	●●●●●(1)	●●●●●(1)	●●●●●(1)	●●●●●(1)
◆健康栄養/食物栄養専攻	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)		●●●●●(2)	●●●●●(2)	●●●●●(2)	●●●●●(3)
◆被服/被服学専攻	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)		●●●●●(3)	●●●●●(3)	●●●●●(4)	●●●●●(4)
	●●●●●(4)					●●●●●(4)			
◆被服/化粧学専攻・化粧文化コース	●●●●●(1)	●●●●●(2)	●●●●●(3)	●●●●●(4)					

(2)課外活動等表彰 課外活動において優秀成績を収めた個人または団体を表彰します。※ ()内は平成27年度の回生を記載。

■学長賞 個人

- (被服学科4回生) 【理由】第40回全日本バントワーリング選手権大会ならびに第8回WBTFインターナショナルカップで輝かしい成績を収めました。
- (被服学科3回生) 【理由】第40回全日本バントワーリング選手権大会ならびに第8回WBTFインターナショナルカップで活躍しました。
- (被服学科4回生) 【理由】一般社団法人日本衣料管理協会が行う繊維製品の品質管理業務に関する知識及び技術審査で優秀な成績を収めました。
- (ライフプランニング学科2回生) 【理由】四大陸選手権AGG JAPAN CUP長野大会および第40回大阪新体操選手権大会で優秀な成績を収めました。
- (被服学科3回生) 【理由】ベトナムコレクションのデザインコンテストで優秀な成績を収めました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】西日本体操選手権大会および第47回関西学生体操新人選手権大会で輝かしい成績を収めました。
- (児童学科2回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。
- (被服学科4回生) 【理由】聴覚障がいのある学生が授業を受ける時のサポーターとしてノートテイクを行いました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】香芝市産産連携推進事業を通じて合格祈願靴下の商品開発を行い、本学の名誉を高めました。
- (被服学科3回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】西日本体操選手権大会および第47回関西学生体操新人選手権大会で輝かしい成績を収めました。
- (児童学科2回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。
- (被服学科4回生) 【理由】第40回全日本バントワーリング選手権大会ならびに第8回WBTFインターナショナルカップで輝かしい成績を収めました。
- (ライフプランニング学科2回生) 【理由】四大陸選手権AGG JAPAN CUP長野大会および第40回大阪新体操選手権大会で優秀な成績を収めました。
- (被服学科3回生) 【理由】ベトナムコレクションのデザインコンテストで優秀な成績を収めました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】西日本体操選手権大会および第47回関西学生体操新人選手権大会で輝かしい成績を収めました。
- (児童学科2回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。
- (被服学科4回生) 【理由】聴覚障がいのある学生が授業を受ける時のサポーターとしてノートテイクを行いました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】香芝市産産連携推進事業を通じて合格祈願靴下の商品開発を行い、本学の名誉を高めました。
- (被服学科3回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。
- (ライフプランニング学科1回生) 【理由】西日本体操選手権大会および第47回関西学生体操新人選手権大会で輝かしい成績を収めました。
- (児童学科2回生) 【理由】第16回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を残しました。

●商店街課題解決で優秀プランに選出

大阪府の商店街サポーター創出・活動支援事業の「平成27年度商店街課題解決プランコンテスト」でライフプランニング学科の学生有志が参加する「小阪キッズファースト商店街サポーターズ」が優秀プランに選出されました。学生たちは地元の企業、NPO法人とチームを組み、学生の視点を生かした商店街への貢献方法を考え、プレゼンテーションしました。

●高校生の●●さんが書の甲子園で優秀賞(11/26)

「書の甲子園」として親しまれる「第24回国際高校生選抜書展」(毎日新聞社、毎日書道会主催)で高校2年、●●●●●さんが優秀賞に輝きました。作品は「牛糞造像記」。全紙(縦136センチ、横70センチ)の大きさに書きました。作品は2月、大阪市天王寺区の大阪市立美術館で展示されました。

●美容コースの学生がヘアコンテストで受賞(2/15)

ヘアコンテスト「I'm Kinki Hair Contest 2016」の美容フリンディン科目で被服学科化粧学専攻美容コースの●●●●●さんが準優勝、▲▲▲▲▲さんが敢闘賞を受賞しました。このコンテストは理美容の基礎技術はもちろん、創造性と芸術性を豊かに育てる目的で開催されています。

●学生の作品がベトナムコレクションに登場(9/5)

ベトナム文化をテーマにしたファッションショー「Vietnam Collection 2015」に被服学科被服学専攻の●●●●●さん、▲▲▲▲▲さん、■●●●●さんがデザインした作品が登場しました。アオザイのスリットを現代的なカジュアルウェアに取り入れ、可愛らしいワンピースや襟の切り込みがユニークなシャツブラウスを提案。■●●●●さんは「バルビゾン賞」を受賞しました。

●「TEAM SHOIN」がAGG世界選手権で国別3位

大学の体操同好会7人で結成された「TEAM SHOIN」がチェコで開かれたAGG世界選手権(6/11~12)で見事国別ランキング3位となりました。日本代表はTEAM SHOIN、Team JAPAN、日本女子体育大学JWCPEAGG Teamの3チーム、1カ国3チームの合計点で競う国別対抗戦での快挙です。また、チーム別では8位に入賞しました。

受賞

●●●●●さんが「第66回西日本学生体操選手権大会」(2016/5/18)新体操の部で優勝し、2連覇を達成しました。

くすのき地域協創センター イキ×ラボ

くすのき地域協創センター（愛称：イキ×ラボ）は教育・研究・地域連携をテーマにした様々なプロジェクトを進めています。プロジェクトはどれも学生の視点を生かした地域貢献活動です。2015年度に地域や行政と連携しながら学生が企画・実践した取り組みを紹介します。

活動報告

〈イキ×ラボ・チャレンジプロジェクト／自由応募型〉



■ キャンドルナイト

大阪市北区で開催される「100万人のキャンドルナイト」に参加し、作品を展示しました。東大阪市民美術センター「ナイトミュージアム」ではLEDランタンで装飾するなど会場を演出しました。



■ YJ (ヤング・ジャパニーズ)

地域の小学生から高校生を対象に歌やダンスのワークショップを行いました。くすのき祭では子どもたちと一緒にオリジナルショーを公演しました。



■ グリムプロジェクト 2015

香芝市をはじめ奈良県内の自治体と連携して、絵本を通じた子育て支援活動をしています。新たに東大阪とも連携し、楠根子育て支援センターで絵本館活動を始めるとともに活動の場を広げました。



■ KSK10

小阪商店街が空き店舗を活用して、子育てママが集える「キッズ・ママラボ」を開創し、ここを拠点に商店街と連携して子どもや親子で楽しめるイベントを開催しました。

〈イキ×ラボ・チャレンジプロジェクト／行政提案型〉

子ども理科講座「ノーベル」プロジェクト



■ チームミックスジュース 「水を使った不思議実験」

シャーベットを作り、ジュースと水の固まる速度の違いを実験とクイズで子どもたちにわかりやすく説明しました。



■ くすのき 「やる気! 元気! パター!」

子どもたちと生クリームを使ったバター作りに挑戦しました。



■ MINT 「砂糖の科学～ べっこう飴を作ろう～」

べっこう飴を作りながら、砂糖の特徴をわかりやすく紹介しました。



■ 星の女王様とタキード仮面 「冬の星空探検☆」

子どもたちと一緒に天体望遠鏡を使って冬の星座を観察しました。

女性・子どもが喜ぶおいしい「おやつレシビ」開発プロジェクト

門真市の特産物である「レンコン」や「くわい」を使った「おやつレシビ」の開発プロジェクトに、2チームがチャレンジしました

■ 食楽マーチ

チョコレートの中に角切りれんこん、マシュマロ、ナッツを加えた「レンコン入りロッキーロード」が最優秀賞に選ばれました。



■ 樟蔭girls

すりおろしたれんこんを入れた「れんこんみたらし団子」が優秀賞となりました。



〈産官学連携プロジェクト(香芝市産学連携推進事業)〉

■ 女子学生が考えた 「将来私が住みたい家」プロジェクト (株式会社垣本ハウジング)

学生が「自分たちが将来住みたい家」をテーマに意見を出し合い、実際に販売されるモデルハウスを建築しました。



■ 合格祈願靴下開発プロジェクト (杉山ニット工業)

合格祈願の靴下「ダルマもりソックス」を企画・開発しました。学生が雲の上にダルマが乗ったキャラクターを考案し、5本指ソックスに仕上げ販売しました。



学生が様々な活動を展開しています

学生が新商品開発や地域のイベントなど様々な分野で活動を展開しています。活躍の場は学内にとどまらず、どんどん広がっています。学生の取り組みの一部を紹介します。



インテリアデザイン学科の有志が ワンルームマンションの内装をデザイン

インテリアデザイン学科の有志メンバーと正木商事株式会社(奈良市)が内装を考えたワンルームマンションが完成しました。学生たちは、女子大生ならではの視点を生かしてカフェ、北欧レトロ、和モダン、温泉宿など7種類のコンセプトを考案。テーマに合わせて天井や壁、クロスを選ぶなど細部までこだわった空間づくりをしました。



「布施えびすバル」のTシャツをデザイン

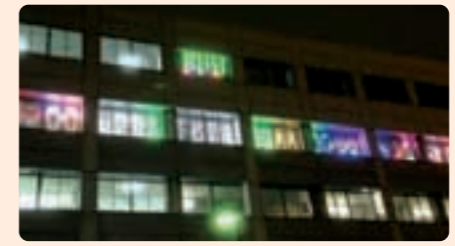
被服学科の学生が「布施えびすバル」のTシャツデザインを手掛けました。バル実行委員会から依頼を受け、約50点のデザインを提案。

審査の結果、被服学専攻の●●●●●さんのデザインが選ばれました。バルは布施駅周辺の飲食店が参加して10月17日(土)に開催されました。



イルミネーションプロジェクト

12月、芳情館北4階ウィンドーにイルミネーションを点灯しました。地域の人や電車の車窓から電飾芸術を楽しんでもらおうと2006年から続けています。今回は被服学専攻の有志が「Make Up & Fashion」をテーマに制作。学生たちは「4月以降の新学科名、化粧ファッション学科をPRするデザインを考えました」と話しています。



袴プリンセスが一日警察署長を務めました

春の全国交通安全運動が始まった4月6日(水)、昨年のくすのき祭で袴プリンセスに選ばれた児童学科の●●●●●さんが香芝警察署(奈良県)の

活動報告

一日警察署長を務めました。伝統の袴姿に身を包んだ学生は「啓発活動に一杯努力します」と意気込みを語り、パトカーで管内の事業所を訪問。ドライバーに安全運転を呼びかけました。



ボランティア部が防犯キャンペーンを行いました

買い物客がひったくり被害に遭わないようにと、ボランティア部が布施警察署と5月12日(木)に近鉄河内小阪駅で防犯キャンペーンを行いました。自転車利用者にひったくり防止カバーを配布したり、前かごに取り付けたりして、増加傾向にあるひったくりへの注意を促しました。



大阪樟蔭女子大学 × ケイエス冷凍食品株式会社

冷凍食品「麻婆×豆腐ハンバーグ」を開発しました

社会で求められる企画力を育成するために日本経済新聞社と連携講座を開催しています。今年は「お弁当に入れてみたいおかず一品」をテーマに健康栄養学科の学生6人が新商品開発に挑戦しました。約8カ月にわたって市場調査や試作を繰り返し、ケイエス冷凍食品株式会社(泉佐野市)に提案。管理栄養士を目指す学生の知識を生かした冷凍食品「麻婆×

豆腐ハンバーグ」として全国販売されました。商品が誕生したプロセスなどが日経M(12月6日付)に掲載されたほか、ケイエス冷凍食品のパンフレット(2016年春号)にも紹介されています。また、食品の展示会「Food convention 2016」(1月14~15日、インテックス大阪)にも出展。「女子大と冷凍食品のコラボ」という企画の珍しさが展示会で注目を集めました。

中学校・高校

2015年度 若葉祭を開催しました

今年の若葉祭は、高校の体育祭と中学校の全校レクリエーションを9月16日(水)に、文化祭を26日(土)、27日(日)に開催しました。

高校の体育祭は、1年生の玉入れで競技を開始。2年生はクラス担任の似顔絵をパネルで作る「みんなのパネル」を披露しました。毎年楽しみにしている3年生の「青春の躍動」は、どのクラスも息がぴったりで、クラスの特徴を生かした素晴らしいダンスでした。受験勉強の合間の限られた時間を使って、この日のために振り付けと衣装デザインを考え、練習を重ねた成果が出ていました。

中学校の全レクは、中学自治会執行部のアイデアから生まれた新競技「キャタビラリレー」や先生を巻き込んだ借り人競争、クラス対抗リレーなど熱戦を繰り広げました。上級生と下級生が協力して競技に参加したり、3年生が指揮をとって応援合戦をする

など生徒たちに連帯感が生まれ、学年を超えて団結する素晴らしさを学んだ1日となりました。

文化祭は、完成したばかりのキャンパスプラザも会場になり、規模を拡大して開催しました。テーマは「新進気鋭」。新しいことに取り組もうという意気込みをテーマにしたそ

うです。新たに登場した野外ステージにはフォークソング部と軽音楽部が出演しました。吹奏楽、音読、ピアノ、演劇、ダンスなどの舞台発表、生徒たちが工夫を凝らした展示発表はどれも素晴らしい出来でした。みんなで一つのものを作り上げる喜びと感動を分かち合いました。

活動報告



中学校・高校のランチルームが「ごきげん食堂」に

報告

中学校・高校のランチルームが1月、「ごきげん食堂」に生まれ変わりました。無農薬、減農薬、自然栽培の食材を使い、保存料や着色料など食品添加物を極力使わないメニューが自慢の食堂です。季節の恵みを一皿に乗せて楽しむ「ごきげんランチ」は、メインディッシュ、スープ、ご飯、旬の野菜を食べられる量を考えて自分で盛り付けます。手作りのドレッシングやマヨネーズも美味しいと好評です。食べ残しを減らすために、またゴミを減らすために使い捨て容器は使わないようにしています。この「ごきげん食堂」には「全ては次世代の子供たちと地球の未来のために」という思いが込められています。



イベント報告

笑いあり、涙あり
高校3年生の「お別れ会」

卒業を目前に控えた2月26日(金)、高校自治会が3年生を送る「お別れ会」を開きました。3年生が感謝を、教員や後輩が祝福の気持ちを伝える恒例行事です。

校長先生の「人生30000日の中を占める高校生活1000日の濃さ」というメッセージに耳を傾けた後、音楽演奏やダンスなどで「ありがとう」と「おめでとう」を表現しました。教員が参加する心尽くしの追い出し企画は毎年、見応え十分。今年は3年生の担任団が嵐の「愛を叫べ」のダンスを披露しました。また、3年生が中学1年生だったときの担任団がバンドを組んでサプライズ出演、大いに盛り上がりました。入学からの3年間を写真で綴る思い出のスライドショーや、教員、職員、守衛さんらお世話になった人からのメッセージ映像を見て、しみりする場面もありました。笑いあり涙ありの思い出に残るお別れ会になりました。



台湾の曙光女子高級中学校と姉妹校に

報告

台湾・新竹市の私立曙光女子高級中学校と姉妹校の締結をしました。

曙光女子高級中学校は1960年創立の学校で、進学率は台湾の私学ではトップです。本校と同様に中学(初級中学)と高校(高級中学)があり、日本語の教育レベルが高いことでも知られています。

2005年に交流が始まり、曙光女子高級中学校の生徒や教員はこれまで6回、本校を訪れています。協定締結により、7月から本校生の交換留学が実現。来年3月には研修旅行も計画しています。これまで以上に交流を深め、相互理解を進めたいと思います。

華麗な演技を披露 身体表現コース発表会

活動報告

「第6回身体表現コース発表会」を5月4日(祝)、八尾市文化会館プリズムホールで開催しました。発表会は中学校・高校の身体表現コースで学ぶ生徒が、日ごろの練習の成果を發揮し、身体表現の魅力を発信しようと毎年5月に

開いています。全国レベルで活躍するダンス、バントワリグ、ボンボンチア、新体操部の生徒のほか、卒業生や樟蔭ジュニア(地域の小学生、園児のレッスン生)ら合計270人が華麗な演技を披露しま

した。会場に集まった約1400人の観客からは大きな拍手が送られるなど大盛況でした。年々、演技の完成度が上がっており、今年はケーブルテレビや新聞などメディア取材も受けました。



百人一首の腕を競いました

イベント報告

中学校・高校合同の「百人一首大会」を開催しました。1月21日(木)が予選、決勝戦は22日(金)でした。中学1年李組、3年李組、高校1年雲組、2年虹組の生徒4人が1対1で対戦する決勝に進出。応援団が見守る中、伝統の袴を身に付け決勝に挑みました。生徒たちは量に並べられた札に集中し、詠み手の声に合わせて、「はい」という掛け声と共に素早い手さばきで札を取り合っていました。時にはお手つきで悔しそうにする場面も見られました。

高校生対決となった優勝戦は接戦に。一枚を取るごとに拍手が沸き起こり、会場は盛り上がりました。高校2年生の●●●●さんが優勝し、準優勝は高校1年生の▲▲▲さんでした。この大会は古典への関心を高めるとともに、情操教育の一環として毎年行っています。

高校生がポスター発表で
応用糖質フレッシュシンポジウム賞

受賞

9月15日(火)に本大学で開かれた「第4回応用糖質フレッシュシンポジウム(主催:日本応用糖質科学会)」のポスター発表部門で、高校3年の3人がフレッシュシンポジウム賞を受賞しました。

「砂糖がスポンジケーキに与える影響」をテーマに、砂糖の種類によってスポンジケーキのふくらみや甘さ、食感がどのように変わるかを検証。上白糖、グラニュー糖、三温糖、黒糖、カロリーオフなど7種類の硬さ、しっとり感、見た目、甘さ、食感を比較した結果を発表しました。上白糖は硬さ、見た目、食感などで、三温糖はしっとり感で高い評価が得られましたが、一番美味しかったのはグラニュー糖で作ったスポンジケーキだったそうです。



左から●●●●さん、▲▲▲さん、■●●●さん

樟蔭レッスンが
始まっています

活動報告

今年度よりホームルームの時間を利用して中学1年生、高校1年生を対象に「樟蔭レッスン」を始めました。新入生に少しでも早く樟蔭の目指す生徒像「Little Lady」に近づいてもらいたいとレッスンを始めました。「Little Lady」とはマナーや気配りの行き届いた、思いやりの心を持つ女子のことです。樟蔭の歴史、挨拶や正しい言葉遣い、美しい姿勢、望ましいマナーなどを学び、樟蔭生であることを誇りに思えるようになってほしいと願っています。レッスンは始まったばかりですが、生徒たちは熱心に話を聞き、職員室を訪れた時にはとても感じのいい所作を見せています。樟蔭ならではの女子教育の取り組みにご期待ください。

